

2026年10月15日



新型急行用車両3000系の 車内案内表示器及び行先・種別表示器において カラーユニバーサルデザイン認証を取得しました

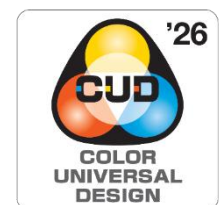
阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）では、2027年春に導入予定の新型急行用車両3000系（6両編成）の車内案内表示器及び行先・種別表示器において、多様な色覚に配慮した配色・デザインを採用し、当社としては初となる、カラーユニバーサルデザイン（CUD）認証※を取得しました。なお、鉄道車両の表示器においては関西大手私鉄初の取得です。

ご利用いただく皆さまにとって快適な環境づくりに取り組むことで、選ばれる沿線を目指します。



CUD に対応した実際の車内案内表示器画面

※CUD：多様な色覚に配慮して、情報になるべく全ての人に正確に伝わるように、あらかじめデザインすること。CUD 認証は、NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構によって検証・審査が行われ、合格したもののみ CUD マークを表示することができます。



CUD マーク

■車内案内表示器及び行先・種別表示器

3000系に搭載される車内案内表示器及び行先・種別表示器において、列車種別ごとの色分けをわかりやすくするため、背景色と文字色のコントラストの改善や、色味の調整（例：緑色→青緑成分を強調、水色や青色→青成分を強調）等を行い、鉄道車両の表示器において関西の大手私鉄では初となる CUD 認証を取得しました。

■車内案内表示器の表示例と見え方イメージ

BEFORE

カラーユニバーサルデザイン対応前

▶一般色覚の方の見え方



▶色弱の方の見え方（一例）



AFTER

カラーユニバーサルデザイン対応後

▶一般色覚の方の見え方



▶色弱の方の見え方（一例）



阪神グループは、「“たいせつ”がギュッと。」のブランドスローガンの下、これからも一人ひとりのお客様の“たいせつ”と向き合い、グループ一丸となって阪神らしいブランド体験を提供し続けることで、その信頼と期待に応えてまいります。



以 上